

活動計画について

1 政策提言

- ・国の政策決定（成長戦略、骨太の方針など）、予算編成（当初予算、補正予算）の節目を捉え、必要に応じ政策提言を実施

提言項目	「CLTを核とした木材活用の宣言」に沿った提言 公共建築物等におけるCLTの利用に係る知見をふまえた活用の提言を実施
提言先	内閣官房、農林水産省（林野庁）、国土交通省、環境省等

2 「CLTを核とした木材活用の宣言」に基づいたCLT建築の推進

(1) 技術研修会等の開催による人材育成と施主の理解醸成

- ・フォーラムの開催
- ・各自治体の実施するセミナーや現場研修会等に首長連合間において相互に受入を実施（別紙参照）
- ・（一社）日本CLT協会等関係団体の開催する講習会等の情報収集及び情報共有



(2) 技術情報の共有によるCLT建築の推進活動を加速化

- ・各自治体のCLTに関する技術情報や課題等を持ち寄り政策提言に向けた勉強会を開催（別紙参照）

3 その他

- ・木材利用推進全国会議との連携（CLT首長連合構成員のうち76自治体が加盟）
情報の共有及び積極的な参加を促進

研修会等の相互参加による人材育成及びCLT建築の推進

対策のポイント

- 各自治体が開催する研修会等の情報を首長連合間で共有し、自治体職員をはじめ建築士及びビルダー等に参加を促すことで、学ぶ機会・知る機会を増やし研修の場を確保
- こうした取り組みにより会員相互の活動を活性化

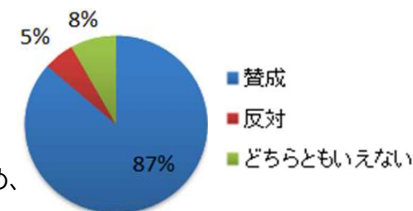
現状

- 国や民間団体の実施する講習会の地方開催は限られ参加機会が少ない
- 先進自治体の取り組みを学びたいが、講習会等について情報が少なく参加の機会が少ない
- 自治体の開催する講習会等は、定員に満たない場合があり、枠に余裕が生じている

アンケート結果

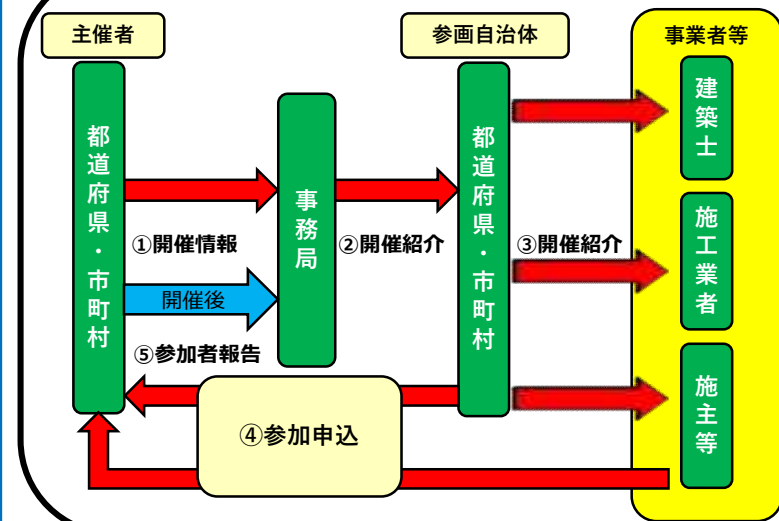
※意見抜粋

- 民間事業者に対してCLTの普及推進を図るためにも、各自治体で開催される講習会等に参加できることは知見を得る良い機会である。
- CLTの普及に関して各地域の様々な情報を得ることができ、また参加人数の増加にもつながる
- 県内には建築事例が少なく、講習会等を開催することは困難であるため、参加機会をいただけることはありがたい



相互参加の仕組み

CLTで地方創生を実現する首長連合



- ①主催者より講習会開催案内等を事務局へ情報提供（首長連合参加条件等は主催者により独自設定）
- ②事務局より首長連合自治体へ情報提供
- ③管轄事業者等へ開催情報の紹介
- ④各自主催者へ申し込み
- ⑤主催者より参加者数を事務局へ報告

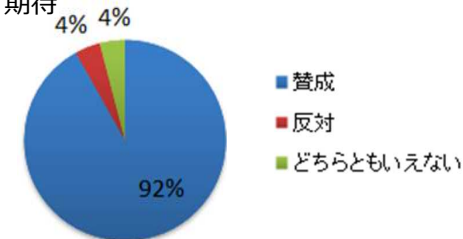
* 申込者が定員を超える場合は地元優先

情報交換会の開催について

★CLTに関する技術情報や課題等を持ち寄り政策提言に向けた勉強会を開催

（アンケート結果）※意見抜粋

- 情報交換会への参加により、現状単独では困難な、CLT普及に向けた課題の把握や最新の事情についての情報収集が可能となり、施策の立案に向けた参考となる
- 担当者レベルでの情報交換及び勉強会などがあつた方が、CLTや木造建築などの知識レベルが上がり推進するにあたりプラスになる
- 自治体間で、CLTに対する知識や取組みに大きな差があると思われます。底上げとなるような情報交換や意識共有等が図られることを期待



効果

先進自治体の知見等の共有による参画自治体への学ぶ場の提供
CLT等木造建築の認知度向上及び技術者等の育成による木造建築物の増加・木材需要の拡大